

ARMA International 東京支部
第 111 回定例会のご案内

2016 年 2 月 8 日
ARMA International 東京支部
会長 西川 康男

今回は前回に引き続き企業の記録管理シリーズ第 2 弾として、日本経済史研究の第一人者である東京大学名誉教授 武田晴人先生をお招きし、「日本企業の記録管理とアーカイブズ ～現状と課題～」をテーマにお話し頂きます。先生は有名日本企業 20 社以上の社史編纂に参画されておりますので、日頃外部からは窺い知ることのできない企業の記録管理の実態を一番よくご存知の方と言えます。そのような企業の社史制作の過程から見た記録管理の現状と課題、さらにはアーカイブズの視点から文化遺産としての企業資料の価値につきお話しを頂きます。

ARMA 会員の皆様はもちろん、多くの関連団体、企業の記録管理に携わる方々のご参加をお待ちしております。

記

1. 講演テーマ：「日本企業の記録管理とアーカイブズ ～現状と課題～」

- 〔講演要旨〕
- ①会社史の現場から
 - 歴史編纂を制約する資料の貧困
 - ②会社史の可能性
 - 対話の手段としての会社史
 - ③基盤としての資料群
 - 情報の蓄積とその手段
 - ④現代社会の文化的遺産としての企業資料

2. 講師：武田 晴人 氏 東京大学名誉教授

3. 日 時：2016 年 3 月 17 日（木）15:00～17:00（受付開始 14:30）

4. 会 場：中央大学駿河台記念館 330 号室（3 階）
東京都千代田区神田駿河台 3-11-5 03-3292-3111

交通アクセス：JR 御茶ノ水駅、営団地下鉄新お茶の水駅下車 ニコライ堂先

<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

5. 主催：ARMA International 東京支部 <http://www.arma-tokyo.org/>

6. 後援：企業史料協議会、記録管理学会、日本アーカイブズ学会

7. 参加費：会員 2,000 円 非会員 3,000 円 *後援団体会員は 2,000 円、学生 1,000 円

8. 申込み(問合せ先)：お名前、ご所属、会員・非会員の区別、ご連絡先（電話番号、メールアドレス）をご記入の上、メールにて ARMA 東京支部までお申込み下さい。

*お申し込み先：ARMA International 東京支部：office@arma-tokyo.org

定員：60 名（先着順）

締切：2016 年 3 月 15 日（火）（定員に達し次第、締め切らせていただきます。）

《講師紹介：東京大学名誉教授 武田 晴人 氏》

昭和	47年	3月	東京大学経済学部経済学科卒業
昭和	49年	3月	東京大学経済学部経営学科卒業
昭和	51年	3月	東京大学大学院経済学研究科修士課程修了
昭和	54年	3月	東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
		4月	東京大学社会科学研究所助手
昭和	56年	4月	東京大学経済学部助教授
昭和	63年	7月	経済学博士（東京大学）
平成	3年	6月	同 教授
平成	8年	4月	同 大学院経済学研究科教授
平成	27年	3月	同 大学院経済学研究科 定年退職
平成	27年	6月	同 大学院経済学研究科 名誉教授

現在の研究分野：日本経済史

研究課題と研究経過

日本経済史の研究は近年、戦時から戦後期に重点を移しているが、それに対応して戦後経済史に関する研究会を組織して経済政策と経済発展の関連についての共同研究を進めている。個人研究としては、三菱史料館の史料を利用した一連の三菱財閥史研究のほか、企業史・産業史の分野を主たる専攻分野として研究を続けている。このほか、通商産業史の編纂業務に参加して1980年代以降の産業政策展開について、主として環境・工業立地・保安政策についての検討を進めている。また、日本開発銀行の展開した政策金融についての研究をとりまとめた。*以上 www.e.u-tokyo.ac.jp/service/faculty/takeda/.../takeda01.j.html より

著書『日本産銅業史』（東京大学出版会、1987年）

『帝国主義と民本主義』〈集英社版 日本の歴史19〉（集英社、1992年）

『[談合](#)の経済学 日本の調整システムの歴史と論理』（集英社、1994年/[集英社文庫](#)、1999年）

『日本経済の事件簿 開国から石油危機まで』（[新曜社](#)、1995年/新版、[日本経済評論社](#)、2009年）

『財閥の時代 日本型企業の源流をさぐる』（新曜社、1995年）

『日本人の経済観念』（[岩波書店](#)、1999年/[岩波現代文庫](#)、2008年）

『世紀転換期の起業家たち 百年企業への挑戦』（[講談社](#)、2004年）

『仕事と日本人』（[ちくま新書](#)、2008年）

『高度成長』〈シリーズ日本近現代史8〉（[岩波新書](#)、2008年）

『[岩崎弥太郎](#) 商会之実ハ一家之事業ナリ』（[ミネルヴェア書房](#)、2011年）

通商産業政策史編纂委員会編『立地・環境・保安政策』〈通商産業政策史 1980-2000 (5)〉（[経済産業調査会](#)、2011年）

『「国民所得倍増計画」を読み解く』（日本経済評論社、2014年）

『脱・成長神話 歴史から見た日本経済のゆくえ』（[朝日新聞出版](#)、2014年）

単編〔[編集](#)〕

『日本産業発展のダイナミズム』（東京大学出版会、1995年）

『地域の社会経済史 産業化と地域社会のダイナミズム』（有斐閣、2003年）

『日本経済の戦後復興 未完の構造転換』（有斐閣、2007年）

『戦後復興期の企業行動 立ちだかった障害とその克服』（有斐閣、2008年）

『日本の情報通信産業史 2つの世界から1つの世界へ』（有斐閣、2011年）

『高度成長期の日本経済 高成長実現の条件は何か』（有斐閣、2011年）

共編〔[編集](#)〕

（[大河内暁男](#)）『企業者活動と企業システム 大企業体制の日英比較史』（東京大学出版会、1993年）

（[石井寛治](#)・[原朗](#)）『日本経済史』全6巻（東京大学出版会、2000年-2010年）

（[宇沢弘文](#)）『日本の政策金融』全2巻（東京大学出版会、2009年）

共著〔[編集](#)〕

（[鈴木良隆](#)・[大東英祐](#)）『ビジネスの歴史』（有斐閣、2004年）

（大東英祐・[和田一夫](#)・[粕谷誠](#)）『ビジネス・システムの進化 創造・発展・企業者活動』（有斐閣、2007年）

共編著〔[編集](#)〕

（[橋本寿朗](#)）『両大戦間期日本のカルテル』（[御茶の水書房](#)、1985年）

*以上 Wikipedia 武田晴人より